



発行所
財団法人兵庫県消防協会
神戸市中央区下山手通4丁目16番3号
編集発行人 岸谷 義雄
定価 1部44円
題字 井戸 知事

「消したかな」
あなたを守る
合言葉

一番暑い夏になれ・・・ 第二三回兵庫県消防操法大会開催!

福崎町消防団が全国大会へ出場!!

平成二二年八月八日(日)、兵庫県広域防災センターにおいて、第二三回兵庫県消防操法大会が開催されました。

当日は、灼熱の太陽がジリジリと照りつけるなか県下の九地区から選抜された代表の精鋭

チーム(小型ポンプの部一〇隊、ポンプ車の部八隊)が、暑い闘いを繰り広げました。

県大会は岸本大会副会長(岸屋市消防団長)が務める総指揮者を先頭とする入場行進で幕を開けました。

成績一覧表

| | 小型ポンプの部 | ポンプ自動車の部 |
|-----|----------|----------|
| 優勝 | 福崎町消防団 | 神河町消防団 |
| 準優勝 | 多可町消防団 | たつの市消防団 |
| 3位 | 洲本市消防団 | 多可町消防団 |
| 4位 | たつの市消防団 | 丹波市消防団 |
| 5位 | 香美町消防団 | 南あわじ市消防団 |
| 6位 | 神戸市北消防団A | 加古川市消防団 |
| 7位 | 尼崎市消防団 | 養父市消防団 |
| 8位 | 稲美町消防団 | 伊丹市消防団 |
| 9位 | 篠山市消防団 | |
| 10位 | 神戸市北消防団B | |

開会式次第

- 一. 開会のことば (小林大会副会長)
- 二. 国旗掲揚
- 三. 黙祷
- 四. 優勝旗返還 (ポンプ車の部 神河町消防団 小型ポンプの部 福崎町消防団)
- 五. 大会会長あいさつ (岸谷消防協会長)
- 六. 激励のことば (井戸知事)
- 七. 来賓祝辞 (小田県議会副議長)
- 八. 選手宣誓 (洲本市消防団 小畑敬二隊長)
- 九. 審査長注意 (大西消防学校長)



井戸知事激励の言葉をのべる

ポンプ車の部優勝の神河町消防団には兵庫県防災監から消防庁長官表彰の優勝旗が、小型ポンプの部優勝の福崎町消防団には協会会長から日本消防協会会長表彰の優勝旗が授与されました。

さらに、各部の優勝、準優勝、三位に輝いた消防団には兵庫県知事表彰、兵庫県消防協会長表彰が贈られました。



ポンプ車操法の様子

小型ポンプの競技が始まるまでに、神戸市消防音楽隊によるドリルパレードが行われ、出場選手や応援に駆けつけた人々を魅了しました。

競技は、小型ポンプの部、ポンプ車の部の順に行われました。連日の猛暑の中、大会に向けたポンプ操法の訓練の成果を十二分に発揮し、きびきびとした動きに息を呑むような緊張感が会場をつつみ、放水によって標的が倒れる度に応援団、観客から大きな声援と拍手が沸き起こりました。

操法終了後、審査長から審査結果の発表が行われると、会場からは出場選手に対して惜しめない拍手が贈られました。

大会結果は次のとおりです。

| 大会結果 | 小型ポンプの部 | ポンプ車の部 |
|------|---------|---------|
| 優勝 | 福崎町消防団 | 神河町消防団 |
| 準優勝 | 多可町消防団 | たつの市消防団 |
| 三位 | 洲本市消防団 | 多可町消防団 |



ポンプ車の部で優勝した神河町消防団



小型ポンプの部で優勝した福崎町消防団

関山名誉会長に 知事及び会長から 感謝状が贈られる

一年にわたり県消防協会の会長として県下消防団の発展に尽力し、今年三月末で勇退された関山巧名誉会長の長年にわたる功績を称え、兵庫県知事及び兵庫県消防協会長から感謝状が贈られることとなり、去る七月一四日、三田市消防本部において贈呈式が行われました。

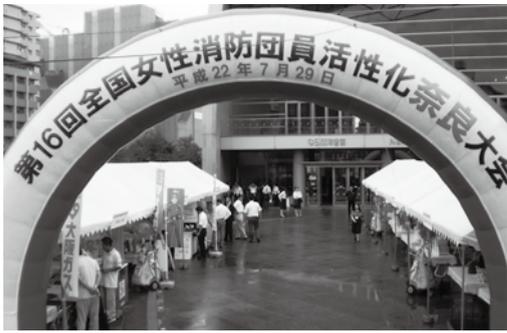


防災監から知事感謝状の贈呈を受ける名誉会長

贈呈式は、三田市消防本部・同市消防団の幹部や県、県消防協会関係者が見守るなか、関山名誉会長が四六年余の長きにわたり消防団長を務めた三田市消防団が、今年二月に受賞した「特別表彰」といって燦然と輝きを放ち飾られている前で行われました。

まず、兵庫県知事の代理として木村光利兵庫県防災監から知事感謝状及び記念品の楯が伝達され、続いて岸谷義雄兵庫県消防協会長から会長感謝状と記念品として「特別表彰」といってのミニチュアである記念銀まとい等が贈られました。

贈呈式後に行われた懇談では、名誉会長は、「ここまでやってこられたのは、皆さんが支えてくれたおかげ」と、会員、消防団員への感謝の言葉を語っていました。



第16回全国女性消防団員活性化奈良大会

第一六回全国女性消防団員活性化奈良大会が、平成二二年七月二十九日(木)に奈良県奈良市のなら一〇〇年会館で開催されました。

式典は、全国から女性消防団

員を始め、消防職・団員二、五〇〇名以上が参加する盛大なものとなり、兵庫県からも岸谷会長をはじめ総勢二二五名が参加しました。大会のなかで、本県播磨町消防団は舞台上で火災予防啓発劇を、加古川市消防団は、会場内でのパネル展示を行いました。

オープニングの奈良市消防音楽隊による演奏に続き、大会旗入場、開会宣言、国歌斉唱、主催者挨拶、開催地市長挨拶、来賓祝辞、来賓紹介と進行し、続いて四団体が活動事例発表を行いました。午後は、兵庫県播磨町消防団を始め三団体が火災予防啓発劇を行い、その後、『多様化する女性消防団員活動』というテーマでパネルディスカッションが行われました。

- また、元阪神タイガース選手川藤幸三氏による『二振人生』と題した記念講演が行われました。そして最後に大会宣言と次回開催地の香川県への大会旗の引継が行われ、閉会宣言の後に式典は成功のうちに幕を閉じました。

- 兵庫県からの参加団体は次のとおりです。
- 神戸市東灘消防団
- 神戸市灘消防団
- 神戸市長田消防団
- 神戸市北消防団有馬支団
- 神戸市北消防団道場支団
- 神戸市北消防団淡河支団
- 神戸市消防局警防部警防課
- 姫路市消防局総務課
- 尼崎市消防団
- 芦屋市消防団
- 豊岡市出石消防団
- 加古川市消防団
- 赤穂市消防団
- 川西市消防団
- 丹波市消防団
- 播磨町消防団



加古川市消防団のパネル展示

兵庫県では、平成一六年度から地域防災力の向上をねらいとして、「ひょうご防災リーダー講座」を開催し、本年度も受講者を募集しています。

- 一 講座の主な内容概要
- 二 開講時期
- 三 開講時間
- 四 会場
- 五 募集人員
- 六 受講料
- 七 申し込み方法
- 八 申込期間

第一六回全国女性消防団員活性化奈良大会



操法の様子



ラッパ隊による演奏

梅雨が明け、青空が広がり海の微風を感じる中、平成二二年七月一八日(日)、淡路島国営明石海峡公園海岸南駐車場において、平成二二年度淡路地区消防操法大会が開催されました。

大会では、淡路市消防団ラッパ隊が演奏を担当するなど、他の地区ではあまり例を見ないスタイルで進められました。小型ポンプの部、ポンプ車の部ともに三隊ずつ、計六隊が、

平成二二年度 淡路地区消防操法大会

熱い戦いを繰り上げました。洲本市消防団が小型ポンプの部で、南あわじ市消防団がポンプ車の部で、それぞれ優勝しました。

結果

小型ポンプの部
優勝 洲本市消防団大野分団

- 二位 南あわじ市消防団
- 三位 賀集第一分団第一部
- 淡路市消防団大町分団
- ポンプ車の部
- 優勝 南あわじ市消防団
- 二位 八木第四分団
- 三位 洲本市消防団千草分団
- 淡路市消防団岩屋地区

あなたの街の...消防団協力事業所

兵庫 県消防課

平成二二年四月に消防庁が実施した「消防団協力事業所表示制度の要綱等の制定状況の調査」を基に平成二二年四月一日現在の協力事業所への表示証の交付状況が公表されました。

証が交付されています。この表示証がより多くの事業所に交付されることで事業所と消防団の連携・強化を図ることが可能となります。

近年の社会経済の進展に伴い、産業構造や就業構造が大きく変化し、全消防団の七割が被雇用者となっています。

要となっています。そこで、平成一九年から本制度が実施され、勤務時間中の消防団活動への便宜や従業員の入団促進など、事業所としての消防団への協力が社会貢献として広く認められることにより、事業所の信頼性の向上とともに、事業所協力により地域防災体制の一層の充実強化を図ることを目的としています。

消防団協力事業所表示証交付状況 平成22年4月1日現在

| 協力事業所表示制度を導入している市町 | 表示証交付事業所数 |
|--------------------|-----------|
| 県 計 | 104 |
| 神戸市 | 20 |
| 姫路市 | 33 |
| 洲本市 | 3 |
| 加古川市 | 0 |
| 赤穂市 | 0 |
| 宝塚市 | 0 |
| 三木市 | 15 |
| 高砂市 | 4 |
| 小野市 | 8 |
| 三田市 | 0 |
| 加西市 | 11 |
| 南あわじ市 | 3 |
| 淡路市 | 3 |
| たつの市 | 4 |
| 猪名川町 | 0 |
| 稲美町 | 0 |
| 播磨町 | 0 |

平成二二年度 ひょうご防災

リーダー講座受講者募集について

兵庫 県

「こんにちは！ひょうごの消防団です」
<http://www.hyogoshoubou.jp/>

わがまちの団長さん

169

富田丸スタート!

姫路市飾磨消防団長

富田 重二



姫路市飾磨消防団は、市の南部のほぼ中央に位置する飾磨区を中心とし、西は広畑区から東端は大塩町までの東西一四キロメートルの海岸線を管轄する消防団として一本部、一四分団、

五六〇名の団員で構成しています。富田団長は昭和四四年に飾磨消防団に入団し、今年四月に団長に就任されました。その間、数々の水火災等の災害に出動するとともに、防災訓練等にも積極的に取り組み、地域住民を災害から守るため活動されてきました。

人柄は温厚誠実で穏やかですが、厳しさも併せ持ち、消防団員としての誇りと団員間の絆を非常に大切にしておられます。消防操法大会では、出場分団へ何度も訓練の様子を見に行かれ、叱咤激励をされました。また、細かいところまで目を配り、常に全一四分団の状況を把握しようとする努力をされています。

団長が行われる新たな試みとして、全分団でDIG(図上訓練)を行う計画です。地域の危険箇所等を再認識するとともに、いざというときの災害情報を共有できると期待されています。

丹波市消防団柏原支団 専任副団長 安井 明彦



地域住民が安心して暮らせるように

丹波市消防団柏原支団 専任副団長

安井 明彦

丹波市消防団は、平成一六年一月に旧水上郡六町の各町消防団が統合し発足しました。団の編成は団本部、六支団の編成となっています。

発足から六年目をむかえ、操法大会をはじめとする日々の各種訓練、行事を経験する中で、各支団間においても絆を深め、丹波市消防団の連携も高まっています。

現在の消防団を取り巻く環境は、少子高齢化や団員のサラリーマン化等厳しいものがあります。不安に思われる住民の方もいらっしゃると思いますが、柏原支団では消防団OB・地域住民の方々との交流も深く、常日頃からご支援・ご指導をいただいております。その中で自主防災組織との連携を取り、地域に根ざした支団活動を展開しています。地域住民の方に安心していただける消防団・支団づくりを目指して頑張りたいと思います。

われら若手消防団員

地域のために頑張りたい

神戸市北消防団八多支団

第五分団第二班

中谷 亮太



私は、平成二〇年四月に北消防団八多支団に入団しました。

消防団に入団したきっかけは、もともと消防団に入りたという希望があり、町の祭りの時に当時の分団長に「消防団に入りたのですか、入れますか。」と声をかけたのが最初でした。

入団して感じたことは、生まれ育った地域であり近所の方の

顔もわかっているで接しやすいくらいということがあります。これは、地域を守る消防団員にとって大切なことだと思います。私が、入団当時から心がけていることは、「地域の皆さんの生まれ育った町、地域の皆さんの生命、身体、大切な思い出」を守ることです。今でもこの思いは変わることはありません。地域のすべての方が、安心して暮らせる町にしていけたら良いなと思っています。

入団して初めての夏期訓練では、規律訓練で先輩団員のきびきびとした動きに驚かされました。その訓練の途中で私は熱中症で倒れてしまいました。自分の未熟さに情けない思いをしました。また、若手団員意見交換会では、さまざまな地域の団員の方と出逢い、地域ごとに色々な活動があることを知り驚きま

た、細かいところまで目を配り、常に全一四分団の状況を把握しようとする努力をされています。団長が行われる新たな試みとして、全分団でDIG(図上訓練)を行う計画です。地域の危険箇所等を再認識するとともに、いざというときの災害情報を共有できると期待されています。

団長に就任されてまだ日が浅いですが、飾磨消防団の発展と地域住民の安全安心を守るため、富田団長の下、力を合わせて活動していきます。

地区通信

第二回 朝来市消防団ポンプ操法大会を開催

朝来市消防団

朝来市消防団が発足し第二回目となるポンプ操法大会が、平成二二年七月四日(日)に朝来市羽瀨「国道三二二号線チェーン脱着場」にて開催され、当日は、前日まで降り続いていた雨も上がり、曇り空ではありましたが朝早くから総勢八〇〇人の団員が集合し、石原団長の訓示の後開会しました。

前回は、ポンプ自動車の部と小型ポンプの部の日程を別々に実施していましたが、今年大会から一日ですべての日程をこなすハードスケジュールのもと実施しました。

大会には、三〇分団が出場し、多くの来賓、応援団、選手の家族が見守る中、午前の部は、ポンプ自動車の部一七チーム、午後の部は、小型ポンプの部一三チームが出場しました。



ポンプ自動車の部



ポンプ自動車の部優勝



小型ポンプの部



小型ポンプの部優勝

中には、昨年の暮れから基礎体力づくりを始め、五月からは、ほぼ毎日の練習を実施して本番に備えてきた分団もあり、出場選手は、操法ならではの独特の緊張感の中、機敏で正確な動作で競技を行いました。

今大会の結果は、ポンプ自動車の部では、前回大会優勝の和田山支団第一〇分団が連覇を成し遂げ栄冠を獲得し、準優勝に

は生野支団第二分団、三位には和田山支団第二分団が入賞しました。大会終了後、入賞チームの選手の中には、「過去二度操法大会に出場したが、どちらも失敗し、悔しい思いをしてきたが、やっと思いを果たすことができました」と、感激のあまり涙ぐむ選手もあり、また、今回の開催は二年後で、小型ポンプの部での県大会出場がかかる、大変重要な大会となるため、大会終了後、早くも次回大会の選手選抜に頭を抱える分団長もありました。天候に恵まれ、また、出場選手の怪我もなく無事に終了することができ一安心しています。

消防団今昔

71

平成二十二年台風第九号 佐用町追悼式挙行される

死者一八名の尊い命が失われ、いまだ二名が行方不明者

追悼式次第

- 一 開式 佐用町副町長 高見俊男
- 二 犠牲者名簿開帳 芳名帳奉呈
- 三 黙とう
- 四 追悼の辞 佐用町長 庵邊典章
- 五 佐用町議会議長 矢内作夫
- 六 ご来賓の言葉 兵庫県知事 井戸敏三
- 七 衆議院議員 赤松正雄
- 八 参議院議員 山口 壮
- 九 参議院議員 末松信介
- 十 閉式 佐用町教育長 勝山 剛

の大きな被害が出た平成二十二年の台風第九号による大水害からちょうど一年目にあたる平成二十二年八月九日(月)、午前



参列者による献花

活動内容については、各集落の消防団により多少異なりますが、基本的には集落内の消火栓・ため池・河川等消防水利の確認、消火栓・消防機械器具等の点検や使用方法の説明、放水訓練、消防団活動・防災体験の講話などを実施しています。

ポンプ操作では始めに団員から説明を受けたものの、いざ放水となると緊張のあまり顔がこわばり団員に手助けしてもらった生徒もいました。

故郷を歩く

中学生との交流事業 「スクラムハート」

多可町消防団

多可町は兵庫県の内陸部に位置し、周囲を中国山地の山々に囲まれた多自然居住の町です。気候は、瀬戸内気候の影響を受けて穏やかですが、町の北部一帯は内陸性気候の影響を大きく受け、かなり寒暖の差があります。

多可町では、急激な社会変化による地域住民の連帯感や人間関係の希薄化が進むなか、地域

内の顔見知り活動を展開しようとして、中学生と消防団が消防活動などを通して地域コミュニティの再生を図る「スクラムハート」事業を平成一九年から実施しています。

「スクラムハート」とは造語であり、地域の人々が肩や腕を組み合って心をつちり固めることを目的に作られた言葉で、活動の目的は、地域の人間関係

を深め、消防活動の体験などを通して地域住民の皆さんとの連携を図り、また、郷土を愛し、ともに支え合う地域づくりにつなげ、地域防災の要となる人材育成にも寄与しようとするものです。

参加した生徒は「消防団の皆さんの苦労がよく分かりました。今後は、自分でも何か手伝えることがないか考えてみたいと思います。」「名前を知っている団員さんといえば、知らない団員さんもある。団員さんが身近な存在となりました。今後もこの活動を通して、顔見知りになつていくことは非常に良いことだと思えます。」などと語っています。

また、この活動は全中学生を対象としており、女子生徒も消防団活動を体験することから、これらの生徒が消防団活動に興味を持ち、将来女性消防団員として活躍してくれるのではないかと期待も持っています。活動の最後に生徒を代表して男子生徒(中学三年生)からは、お礼の言葉とともに「大きくなつたら消防団に入りたい。」と心強いあいさつもありました。

我々消防団は、この事業を通して消防団員の入団促進につながるの思いはもちろんです



消火栓の点検



消火栓BOXの説明



放水訓練

が、参加した生徒のボランティア精神を育み、人間形成の一翼を担えればと思っています。

消防団の充実強化についての検討会の開催について

消防庁防災課

一 目的

消防団には、従来の消火に加え、現在は救助、災害時の避難誘導、防火知識の普及啓発、応急手当等の普及指導など多様な活動が期待されています。

特に都市部の消火については基本的に常備消防が対応し、消防団の役割は限られていると思われがちですが、実際には、消防団による地域の即応消火体制が自身等の災害地を想定すると極めて重要です。

このため、これらに対応する消防団の体制整備(人員・資機

材・訓練)を図る必要があります。

このことから、消防団活動の活性化を通じて、地域の安全・安心が推進されることを目的として「消防団の充実強化についての検討会」を発足し、六月二四日(木)に第一回検討会を、七月三日(金)に第二回検討会を開催しました。

二 検討事項

①大規模災害時における消防団の役割について

②消防団の多様な活動に対応した訓練・装備等について
③団員(特に女性、若者、被雇用者)が活動しやすい環境づくりについて
④その他必要な事項について

三 スケジュール

- 第一回 平成二十二年六月二四日(木)
- 第二回 平成二十二年七月二三日(金)
- 第三回 平成二十二年八月中(予定)
- 第四回 平成二十二年九月中(予定)
- 第五回 平成二十二年一〇月中(予定)

編集後記

残暑お見舞い申し上げます。今月号も各地区から多数の寄稿をいただきありがとうございます。

さて、今月号では、第二三回兵庫県消防操法大会について掲載しております。

大変暑い中、大会に向けて仕事を終えて練習を積み重ね、選手として出場された方、朝早くから応援に駆けつけられた皆さま、大変お疲れ様でした。

全国大会に出場される福崎町消防団には、兵庫県代表として、立派な成績を収められるようお祈り申し上げます。

猛暑日が続いておりますが、熱中症等には十分お気を付けてください。



- ・操法最適ホース : コンペVシリーズ
- ・小型動力ポンプ : ラビットダイヤモンドフジシリーズ
- ・小型動力ポンプ積載車(標準型・全自動型)
- ・消防ポンプ自動車(モリタ)
- ・消防用資機材全般

西垣消防器具製作所
 669-5213 兵庫県朝来市和田山町玉置461
 TEL:(079)672-3131
 FAX:(079)672-3132
 E-mail: fp-nishigaki@eagle.ocn.ne.jp

